

# 事業活動を通じて、持続可能な社会づくりに 貢献しています

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 特に注力する優先課題

2「大」プロジェクトを通じて、お客さまの健康増進や地域社会の活性化に取り組んでいます（詳しくはP12-14参照）



**健康寿命の延伸**



**地方創生の推進**



3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを

### さらなる取組みが必要な優先課題

事業者および機関投資家双方の立場から取組みを強化します

### 環境保全・気候変動への対応



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさを守ろう

### その他の優先課題

- 金融包摂（金融アクセスの確保等）
- こどもの健全育成、伝統芸能・技術の継承
- 健康・金融リテラシーの向上
- 多様な保険商品・サービスの提供
- イノベーション、調査・研究・開発の推進
- 雇用機会の創出
- ダイバーシティの推進
- 働き方改革の推進
- 人権の尊重・推進
- ガバナンス強化と経営の透明性確保
- コンプライアンスの推進
- 防犯・防災対策の整備

このページをさらに詳しく



### 環境保全・気候変動への対応

脱炭素社会の実現に貢献するため2050年度にCO<sub>2</sub>排出量ネットゼロに取り組みます



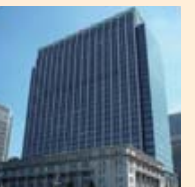
### 事業者としてのCO<sub>2</sub>排出量削減への取組み

削減目標（いずれも2013年度比）

	2020年度実績	2030年度目標	2050年度目標
Scope 1・2 <sup>*1</sup>	△30%	△50%	△100% （排出量ネットゼロを実現）
Scope 3 <sup>*2</sup>	△14%	△40%	△100% （排出量ネットゼロを実現）

### 再生可能エネルギーの導入等

策定した排出量ネットゼロへのロードマップに基づき、再生可能エネルギーの導入や営業拠点を対象としたZEB Ready水準<sup>\*3</sup>を満たす建築物への切り替え等を推進。2030年度の間目標（Scope 1・2）の達成は見込んでいます



（本社ビル等への再生可能エネルギーの導入）

### 機関投資家としてのCO<sub>2</sub>排出量削減への取組み

削減目標（いずれも2013年度比）

	2020年度実績	2030年度目標	2050年度目標
Scope 1・2 <sup>*4</sup>	△32%	△50%	△100% （排出量ネットゼロを実現）

### ESG投融資の推進<sup>\*5</sup>

2021年度からの3年間で5,000億円の投融資を実行する計画に対し、2022年9月末までに累計約5,700億円実行。1年以上前倒しで計画を達成しました



©IDB Invest  
（脱炭素社会の実現に資する「トランジション・ボンド」への投資）

- ※1 Scope1は、当社での燃料の使用等による直接排出。Scope2は、当社で購入した電気の使用等による間接排出  
 ※2 Scope3は、サプライチェーンにおける当社以外の間接排出。重要性等に鑑み、7つのカテゴリー（1、3、4、5、6、7、8）に限定して算出しており、カテゴリー15（投資）は機関投資家としての排出量として管理  
 ※3 省エネに努めて建物内消費エネルギーを50%以上削減した建物  
 ※4 国内上場企業の株式・社債・融資が対象  
 ※5 「環境（E）」「社会（S）」「ガバナンス（G）」の課題を考慮

このページをさらに詳しく



### 未来世代を想い、環境保全やこどもの健全育成などに取り組めます



#### ● 金融・保険教育

小学校高学年から高校生を対象に出張授業を全国各地で開催しています。金融リテラシーの向上を目的に「自助の備え」について学ぶ機会を提供しています。



（埼玉本部主催の授業風景）